みんなのスペース

あべ きよか ちゃん
（大浦保育園・５歳）

わたしのゆめ

わたしは子供が好きだから、大きくなったら保育士になりたいな。やさしい先生になるの。

古里への便り❹

ふる里山田同郷の会副会長
神奈川県茅ヶ崎市
昆　俊郎さん（67歳）
〔織笠出身〕

山田町の皆さま、こんにちは。本紙面をお借りして親しくごあいさつ申し上げます。私は織笠出身で「ふる里山田同郷の会」の幹事の一人として発足当初から参加してきました。

二十年前の古里創生運動の中で多くの古里会が創立され、当会も山田町のご支援のもとに「同郷者相互の親睦と山田町発展に寄与すること」を主旨として創立され、今年六月十九日に第二十回総会と懇親交流の集いを盛況裏に開催しました。一口で二十年とは言いますが、随分長い時が流れました。この間の総会・懇親交流の集いには顔見知りとなった多くの方々が毎回参加し、盛り上げてくださいました。

懇親会の呼び物は、何と申しましても郷土芸能のご披露と郷土物産の即売会です。郷土芸能は、お祭りの出し物がおおむね一巡したところで会場の都合などもあり休演していましたが、今年は第二十回記念ということで第一回に出演いただいた関谷の山田大神楽が再演され、参加者の喝采と感涙を誘いました。ご支援いただいた山田町と保存会の皆さまには心から感謝申し上げます。

郷土物産の即売会では、よそでは絶対に買えない生うに、ごぼうしそ巻き、すっとぎ、せんべい餅、山田せんべいなど懐かしい食べ物を久しく味わえるのもまた格別の楽しみです。とりわけすっとぎが大人気ですので、毎回メニューにお願いしています。

こうして、私たち「ふる里山田同郷の会」の会員は年一度の懇親会を、古里山田をしのぶよすがとして楽しみにしています。そこでお願いですが、関東地区にお住まいの身内の方々でまだ参加されてない方がおられましたら、ぜひ当会への参加をお薦めいただければ幸いです。

終わりに、皆さまのご健勝と山田の繁栄を祈りつつお便りと致します。

投書

どんなことでも結構です。どしどしお寄せください。

頭はシルバー（白髪）でも心はゴールドな仲間たち

去る五月二十三日、山田町シルバー人材センターでは、いつもお世話になっている山田町に感謝の気持ちで船越公園のボランティア草刈りを実施しました。新緑の青空の下、四十人が参加。子供たちの遊ぶ甲高い声も応援歌に聞こえ、シルバーの仲間もいい汗を流したようです。きれいに刈られた芝生を明日は子供たちが元気に走り回ることでしょう。明日の山田を担う子供たちよ、この原っぱから大空めがけて羽ばたけ、この大海を渡って行け…。

山田町シルバー人材センターおそろいのグリーンのジャンパーを着て草刈り機を左右に振る姿が鮮やかな木々の緑よりも若く生き生き見えたのは、わたしの視力の低下のせいだけではないであろう。頭はシルバー（白髪）でも心はゴールドな仲間たちだ。山田町の皆さま、シルバー人材センターをこれからもよろしくお願いします。

小成宗平（北浜町・60歳）

農作業終えて帰るころに心も安らぐカエルの合唱

休耕田の多い野にも、田植えの季節がやってきた。畔には田植えの作業の人たちがあちこちに見える。早苗田で補植しながら耳を澄ませば、ウグイス、山バト、キジの声、隣の休耕田では、ヨシキリがさえずり、「よくも疲れないで」と思うくらいおしゃべり好きに聞こえる。山野鳥の個々の声に誘われながら、すがすがしい気分になれる。

補植作業はかごに早苗を入れて腰にさげ、中腰で植えるので作業はきついが、のどかな草萌える野での「こびり休み」は楽しい。小さいころ、父母が田植えから帰るのが待ち遠しく、それは「こびりのお田の神」であった。季がくると残り香を懐かしく思っている。作業を終えて帰るころ、これからおらの出番かのようにカエルの合唱が始まった。「今日はご苦労さん」とも聞こえた。きつい農作業をしながらも、人里では出合えない心安らぐ一日だった。

菊地サカエ（織笠・70歳）

◇　◇　◇

菖蒲湯の香り端午の節句かな
山崎泰司（船越・59歳）

ライラック
すがしく薫る通学路
子らの歓声空に谺す
佐藤美栄子（大沢・84歳）

衣替え田圃も青く蛙鳴く
佐藤菊實（荒川・77歳）

わが余生
いかに過ごさん抑留の
試練に堪えしこの身愛しむ
齋藤忠雄（船越・79歳）

遠き地の
孫の電話のささやきに
我が老二人に英気与える
松崎静雄（船越・？歳）

清新皆さんと話するも
入れ歯のおかげ
歯、歯と笑いがこぼれる
平山ツネ子（石峠・60歳）

真実をこよなく思惟う
我がこころ
福士順子（八幡町・67歳）

古里離れ五十年
若さで夢を抱いて燃えた
咲いた桜も三分咲き
春の嵐にもぎ取られ
これが己の人生か
今は病と老の身に
岡市健吾（飯岡・？歳）

イラスト

元気なじいちゃん —vol. 14

菊地泰治さん
（織笠・87歳）

いつまでも海を大切にして

★どんな仕事をしていましたか

学校を卒業してから二十一歳で実家の造船所に勤め、その後六十七歳までの四十六年間、造船一筋で頑張ってきました。

★小さいころの思い出は

昔は織笠川の川沿いで小学校と地区の運動会を一緒にやっていたのを思い出しますね。こう見えても走るのが得意で、織笠で一番足が速かったんですよ。

★現在の趣味は何ですか

七十歳から始めたゲートボールですね。週に三日は自転車で織笠河川公園まで練習に通っています。大会があるときには、関口や大沢まで足を延ばすこともあります。ゲートボールで体を動かしているおかげで健康でいられるし、競技は楽しいし、いいことづくめです。

★最後にひと言

山田は海の恩恵を受けている町ですから、海を大切にしてほしいです。海がいつまでもきれいであるように願っています。